



平成22年 5月14日

各 位

会 社 名	株式会社ウィル
代 表 者 名	代表取締役 岡本 俊人 (コード番号：3241)
問 合 せ 先	取締役総務グループマネージャー
役職・氏名	栗野 泉
電 話	0797-74-7272

(訂正) 平成22年12月期 第1四半期決算短信の一部訂正について

平成22年5月6日に公表いたしました当社「平成22年12月期 第1四半期決算短信」について、下記の理由に基づき一部を訂正いたしますのでお知らせいたします。

なお、本訂正はセグメント名称の変更のみであり、事業区分及び数値に関する変更はございません。

記

【訂正理由】

従来、セグメントの事業区分において「その他事業」として区分表示しておりました業務につき、より具体的な名称を付すこととし、当第1四半期連結会計期間より「不動産取引派生事業」へセグメント名称の変更を行うものであります。

【訂正内容】

(1) 3頁「1. 連結経営成績に関する定性的情報」

①本文9行目

【訂正前】

このような環境の中で当社グループにおきましては、昨年までの事業収益構造、経営基盤の再構築への取り組みが一定の成果を出したことから、当第1四半期より更なる収益力を高めるための施策として、総売上に占めるフィービジネスの割合増加に取り組んでまいりました。具体的には、流通事業におきまして平日のみをご利用頂き不動産を購入されるお客様に限り、当社の通常仲介手数料の30%をキャッシュバックする新サービスを導入しております。これにより、平日の集客数、営業稼働率を高め、年間を通じての売買仲介の取扱件数増加を図ることで手数料収入を増加させることは勿論、当社グループが独自に提供する「ワンストップサービス」の強みを活かし、リフォーム事業の請負件数及びその他事業における損害保険・事務代行件数も同時に増加させることを目指してまいりました。

【訂正後】

このような環境の中で当社グループにおきましては、昨年までの事業収益構造、経営基盤の再構築への取り組みが一定の成果を出したことから、当第1四半期より更なる収益力を高めるための施策として、総売上に占めるフィービジネスの割合増加に取り組んでまいりました。具体的には、流通事業におきまして平日のみをご利用頂き不動産を購入されるお客様に限り、当社の通常仲介手数料の30%をキャッシュバックする新サービスを導入しております。これにより、平日の集客数、営業稼働率を高め、年間を通じての売買仲介の取扱件数増加を図ることで手数料収入を増加させることは勿論、当社グループが独自に提供する「ワンストップサービス」の強みを活かし、リフォーム事業の請負件数及び不動産取引派生事業における損害保険・事務代行件数も同時に増加させることを目指してまいりました。

②（参考）図表下段

【訂正前】

事業の種類別セグメントの概況は、次の通りであります。

【訂正後】

事業の種類別セグメントの概況は、次の通りであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、事業の種類別セグメントにおける「その他事業」の名称を「不動産取引派生事業」に変更し、より具体的な名称を付すことにいたしました。

(2) 4頁「1. 連結経営成績に関する定性的情報」

(その他事業)

【訂正前】

(その他事業)

その他事業におきましては、流通事業における売買仲介の取扱件数の増加に伴い、損害保険、ローン事務代行などを中心としたファイナンシャルプランニング業務の取扱件数が増加いたしました。当該事業についても手数料収入であるため、損益分岐点を越える売上は殆どが利益に直結いたしますので、売上の増加率を超える利益率の向上につながっております。

【訂正後】

(不動産取引派生事業)

不動産取引派生事業におきましては、流通事業における売買仲介の取扱件数の増加に伴い、損害保険、ローン事務代行などを中心としたファイナンシャルプランニング業務の取扱件数が増加いたしました。当該事業についても手数料収入であるため、損益分岐点を越える売上は殆どが利益に直結いたしますので、売上の増加率を超える利益率の向上につながっております。

(3) 11頁「5. 四半期連結財務諸表 (5)セグメント情報」

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日）

【訂正前】

	流通事業 (百万円)	リフォーム 事業 (百万円)	リノベーション 事業 (百万円)	開発分譲 事業 (百万円)	受託販売 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	115	117	—	295	4	22	554	—	554
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	115	117	—	295	4	22	554	—	554
営業利益又は営業損失 (△)	40	19	△0	1	△5	15	70	△61	9

【訂正後】

	流通事業 (百万円)	リフォーム 事業 (百万円)	リノベーション 事業 (百万円)	開発分譲 事業 (百万円)	受託販売 事業 (百万円)	不動産取引 派生事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	115	117	—	295	4	22	554	—	554
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	115	117	—	295	4	22	554	—	554
営業利益又は営業損失 (△)	40	19	△0	1	△5	15	70	△61	9

(4) 11頁「5. 四半期連結財務諸表 (5)セグメント情報」

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)

(注)2. 各区分に属する主要な事業

【訂正前】

事業区分	主要事業
流通事業	店舗を構え不動産売買・賃貸の仲介及び賃貸管理を行っております。
リフォーム事業	店舗顧客を主な対象とし、中古物件のリフォームプランの提案、設計及び施工管理を行っております。
リノベーション事業	中古物件を取得し、リフォームによる付加価値をつけて販売しております。
開発分譲事業	マンション、戸建住宅の企画・開発・販売を一貫して行っております。
受託販売事業	外部事業主の代理として販売活動、契約締結等を行っております。
その他事業	上記事業における不動産購入者に対し、ファイナンシャルプランニング業務(損害保険代理業務、生命保険募集業務)、引越業者等の紹介業務、流通事業及び受託販売事業顧客へのローン事務代行業務を行っております。また、販売物件の広告代理業務を行っております。

【訂正後】

事業区分	主要事業
流通事業	店舗を構え不動産売買・賃貸の仲介及び賃貸管理を行っております。
リフォーム事業	店舗顧客を主な対象とし、中古物件のリフォームプランの提案、設計及び施工管理を行っております。
リノベーション事業	中古物件を取得し、リフォームによる付加価値をつけて販売しております。
開発分譲事業	マンション、戸建住宅の企画・開発・販売を一貫して行っております。
受託販売事業	外部事業主の代理として販売活動、契約締結等を行っております。
不動産取引派生事業	上記事業における不動産購入者に対し、ファイナンシャルプランニング業務(損害保険代理業務、生命保険募集業務)、引越業者等の紹介業務、流通事業及び受託販売事業顧客へのローン事務代行業務を行っております。また、販売物件の広告代理業務を行っております。

(5) 11頁「5. 四半期連結財務諸表 (5)セグメント情報」

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)

注記

【訂正前】

(新規追加)

【訂正後】

4. セグメント名称の変更

当第1四半期連結累計期間より、事業の種類別セグメントにおける「その他事業」の名称を「不動産取引派生事業」に変更し、より具体的な名称を付すことにいたしました。

以上